

鳥取市議会議員各位

山陰新幹線整備促進鳥取市議会議員連盟の設立趣意書

新幹線は、重要な社会インフラで、わが国日本の国土軸をなすものであり、昭和39年以降、新幹線ネットワークは、東京を中心に、名古屋、大阪から山陽、九州方面、東北方面、上越・北陸方面をそれぞれ結び、沿線地域に大きな経済効果と開発効果をもたらしました。

平成27年3月に「北陸新幹線」が開通した金沢市においても顕著な効果が表れ、平成28年3月に函館まで開通した「北海道新幹線」についても、今後の延伸による北海道全体への波及効果に大きな期待が寄せられています。

わが国では、人口減少と東京一極集中による地方の衰退に歯止めをかけるためにも「国土強靱化」と「地方創生」を推進しており、全国の主要都市を結ぶ「新幹線ネットワーク」の実現による国土軸の整備が不可欠となっています。

そのようななか、全国新幹線鉄道整備法に基づき、昭和48年に山陰新幹線及び中国横断新幹線の基本計画は、正式に閣議決定されたものの、その後40年以上にわたって整備計画に格上げされず放置され続けています。

山陰は、環日本海エリアとして東アジア諸国に対し、交流や貿易を行う都市や港も多数あり、東アジア地域との交流拠点となる大きな魅力と地域力を持っています。また、南海トラフ巨大地震等、太平洋側での大規模災害が危惧される中、機能不全防止の観点からも、国防や海上安全の側面からもわが国全体にとって大きな役割を果たす極めて重要な地域であります。

したがって、「国土強靱化」の推進においても、全国の都市と繋がり発展していくための「山陰新幹線」の早期実現が必要であり、これにより各都市の潜在力が高まり、総合的な国益に資することは明白であります。

こうしたことから、山陰新幹線を整備促進することは、鳥取市議会としても、周辺市町村と連携し、積極的に活動する必要があると考え、下記のとおり「山陰新幹線整備促進鳥取市議会議員連盟」を立ち上げることにいたしました。

議員各位におかれましては、次世代の子供たちのためにも設立趣旨にご理解をいただき、本議員連盟へのご参加をよろしく願います。

記

- 1 名 称 「山陰新幹線整備促進鳥取市議会議員連盟」
- 2 目 的 山陰新幹線整備の促進
- 3 活動内容 要望活動、啓発活動、国・県・執行部との意見交換、調査研究検討、他の自治体議会との連携など

令和元年6月14日

「山陰新幹線整備促進鳥取市議会議員連盟」発起人代表 上杉 栄一